



日乗連ニュース

発行：日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2010.10.14

No. 34 - 21

〒144-0043

東京都大田区羽田5-11-4

フェニックスビル

TEL.03-5705-2770

FAX.03-5705-3274

E-mail:office30@alpajapan.org

JALI 乗員の雇用問題に関する日乗連声明

日乗連は加盟組合員の雇用を守るために 全力で取り組みます！

2010年10月12日

JALI 運航乗務員の職場では、会社が人員の一方的な削減目標数を掲げ、二度の「特別早期退職」実施に続き、9月からは「希望退職」の募集を始めています。

この「希望退職」措置の募集には年齢制限はなく全ての乗員が対象ですが、会社は9月27日に、削減目標数に達しない場合には整理解雇の人選基準等についても検討せざるを得ないとして「現時点での会社の整理解雇の人選基準（案）」を組合に提示してきました。そして、この「人選基準（案）」に沿って対象となった者には10月のフライトを全くアサインしないなど、不当な施策を進めています。

会社が提示した「整理解雇の人選基準（案）」には、過去の休職や病気欠勤（病欠）、乗務離脱または乗務制限が一定の日数を超える者などが整理解雇の最上位に位置づけられ、例えば、骨折で乗務離脱した若い乗員なども含まれています。

突然勤務アサインを外され対象者となったことを知らされた乗員を中心に、職場での雇用不安は極限状態になっています。

こうしたなか、日本航空乗員組合は、年間活動方針の一つとして「不当解雇を許さず、雇用を守り抜く」を採択し、団結を強化し不当な会社施策に立ち向かおうとしています。

また、日本航空乗員組合は以下の分析を職場に広め、確信を高める取り組みを行っています。

- ・ 会社は「整理解雇の4要件」を満たしていないし、今後も満たすことは出来ない。
- ・ 債権者を含む全ての利害関係者がいわゆる2次破綻を望んでいない。
- ・ 整理解雇が無くても、現行の収支計画は達成できる。
- ・ もし整理解雇に踏み切るような事があれば、その後の悪影響のほうが大きい。

整理解雇という事実は、残った社員にも解雇の恐怖心を残します。業績が予想を下回った場合、次は自分かも知れない、あるいは、会社に対して意見を言ったら対象になるかもしれないといった、「物言えぬ職場」の再来となり、安全運航に大きな亀裂を生じさせます。

日乗連は、日航乗組の活動を全力でバックアップし、不当解雇を発生させないよう、日本の全乗員と共にあらゆる取り組みを行います。

